

# 平成 26 年度における侵略的外来水生植物対策の取組結果

## 1. 平成 26 年度の取組実績

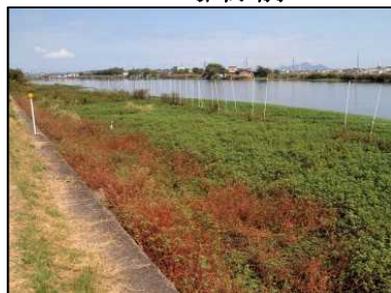
### (1) 協議会事業

- ・平成 26 年 3 月 20 日に設置した「琵琶湖外来水生植物対策協議会」が事業主体となり、国、関係市、NPO など協議会構成団体と連携して駆除を推進。
- ・今年度は、主に大規模生育エリアを対象とし、建設機械（特製クマデ、ウィンチ、グラップル装備）や水草刈取船を用いた駆除を実施（写真 1）。

<事業内容>

予算区分	事業内容	事業費	内訳
当初予算	・生態の実態解明と生育面積の調査等 ・建設機械を主力とした駆除	18,000 千円	国費： 8,000 千円 県費： 10,000 千円
補正予算	・建設機械・水草刈取船を用いた駆除	46,000 千円	国費： 3,000 千円 県費： 43,000 千円

駆除前



駆除作業中



駆除後



写真 1 建設機械による駆除の前後の状況（守山市木浜内湖）

### (2) その他の事業

#### ① NPO 等による取組

- ・「オオバナミズキンバイ除去大作戦プロジェクト」（6 月 29 日、12 月 21 日）  
参加団体・・・認定 NPO 法人びわこ豊穰の郷、赤野井湾再生プロジェクト、玉津小津漁協、国際ボランティア学生協会、地元自治会等
- ・国際ボランティア学生協会による「琵琶湖外来水生植物除去大作戦」  
9 月 15 日から 17 日の 3 日間、全国から約 600 人の学生が参加

#### ② 県の関連部局による事業（県単独事業）

- ・南部土木事務所による「山賀塚内湖（塚川内湖）」における駆除。
- ・南部流域下水道事務所による「矢橋中間水路樋門」周辺における駆除。

#### ③ 外来生物防除対策事業（県単独事業） 3,900 千円

- ・保全団体等への用具の貸出し等による駆除活動への支援
- ・赤野井湾内湖（オオバナミズキンバイ・7 月実施）や彦根市神上沼（ナガエツルノゲイトウ・3 月実施）で駆除の試験施工と地域住民等への普及啓発

## ④ 特定外来生物防除等推進事業（国直轄事業） 16,500 千円

- ・新たに指定された特定外来生物を対象とした「モデル事業」
- ・南湖西岸の雄琴港に生育するオオバナミズキンバイを駆除

## (3) 平成 26 年度実績

- ・生態解明調査により、年度内のオオバナミズキンバイの最大生育面積が約157,400 m<sup>2</sup>に達することが明らかとなった。
- ・7月1日に実施した試験施工に基づき、建設機械（特製クマデ、ウィンチ、グラップル装備）を使用することで効率的な駆除が可能となった。
- ・年度内に協議会事業（補正予算）と国直轄事業、その他の主体による活動などを合わせて、約 109,700 m<sup>2</sup>の駆除を実施した。これにより、平成 26 年度末の残存面積は約 46,300 m<sup>2</sup>となった。（表 1）
- ・木浜内湖南部、赤野井湾岸内湖（小津袋）、堺川内湖等、区域内のオオバナミズキンバイのほぼ全量が駆除できた区域は、平成 27 年度には「巡回・監視区域」（管理可能な状態）へと移行したものとし、巡回・監視対象とする。

表 1. 平成 26 年度琵琶湖南湖におけるオオバナミズキンバイの最大生育面積  
各事業による駆除面積および残存面積

		南湖東岸		南湖西岸		合計
		湖岸	内陸	湖岸	内陸	
最大生育面積		78,300	38,100	37,600	1,600	157,400
駆除面積	協議会 1 号駆除	6,700	14,600	0	0	21,300
	同 2 号駆除	13,200	3,700	400	0	17,300
	同 3 号駆除	33,700	8,500	13,100	0	55,400
	県事業追加駆除	0	900	0	0	900
	他者による駆除	3,600	4,700	6,500	0	14,800
	その他（自然消失）	1,400	0	0	0	1,400
年度末残存面積		21,500	5,700	17,500	1,600	46,300

単位：m<sup>2</sup>、100 m<sup>2</sup>位未満四捨五入のため、合計値が各数値の合計とずれる場合がある。

## 2. オオバナミズキンバイの生育面積の推移

平成 21 年に琵琶湖南湖・赤野井湾で初めて確認されたオオバナミズキンバイは、平成 25 年度まで生育面積の拡大傾向が続き、同年度末に 64,880 m<sup>2</sup>に達した。しかし、平成 26 年度に積極的な駆除事業を実施したことにより、同年度末の生育面積は約 46,300 m<sup>2</sup>と初めて減少傾向に転じた。

表 2. オオバナミズキンバイの生育面積の経年変化

年度	平成 21 (12 月)	平成 22 (11 月)	平成 23 (12 月)	平成 24 (12 月)	平成 25 (年度末)	平成 26 (年度末)
生育面積	142 m <sup>2</sup>	478 m <sup>2</sup>	1,638 m <sup>2</sup>	18,292 m <sup>2</sup>	64,880 m <sup>2</sup>	46,300 m <sup>2</sup>